

iPadを活用した地域における医療と支援の統合モデル(OTP)の実践

OTPチーム

小松俊夫¹、有馬和歌子²、渡邊節子²、阿部哲敬³、稲葉美穂³、
今村剛久⁴、佐藤尚樹⁵、金澤典子⁶、安西里実⁷

1) デイケアセンター

2) ウェル訪問看護ステーション

3) 作業療法室

4) 総合相談支援室

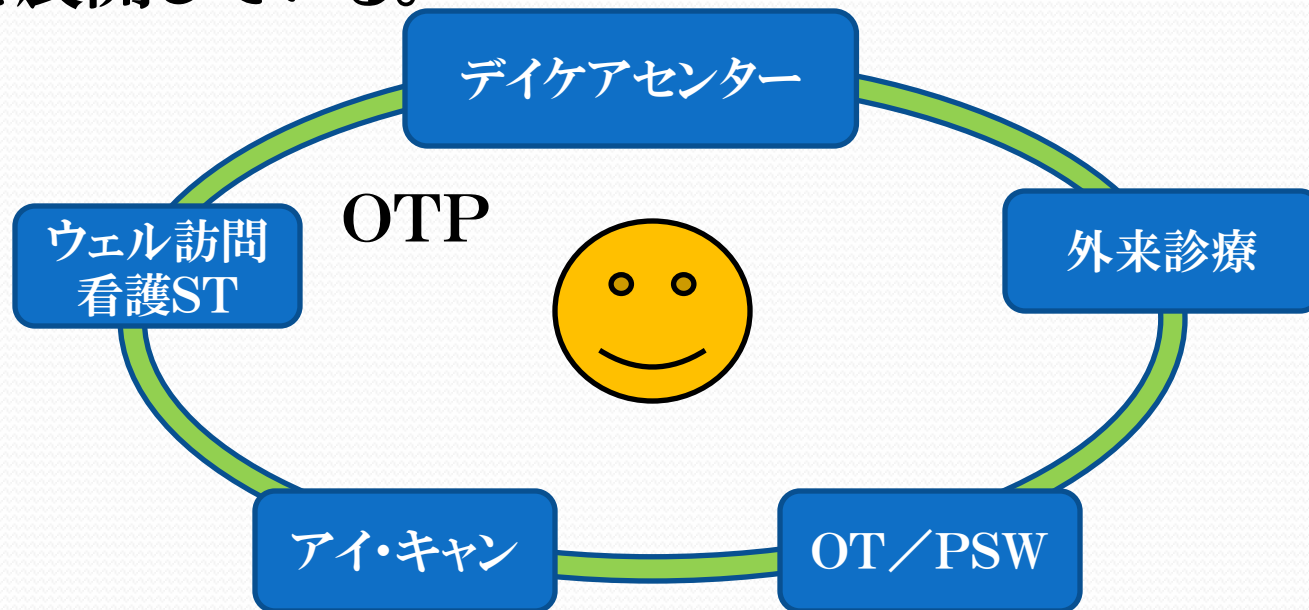
5) 診療情報グループ

6) シニアマネージャー

7) NPO法人アイ・キャン

はじめに

- ささがわプロジェクト(平成14年～)
- Optimal Treatment Project;OTP(統合型地域精神科治療プログラム)を中心戦略とし、医療と支援の統合モデルによるチームを形成し、地域で暮らすメンバーの地域ケアを展開している。



OTP (統合型地域精神科治療プログラム)

エビデンス(根拠)に基づく治療方針

サービスモデル

- 早期発見・早期介入
- 多職種チームモデル
- 継続的なアセスメント
- 訪問サービス
- 双方向性の心理教育

治療プログラム

- 非定型抗精神病薬による薬物療法
- ストレスマネジメント
- 認知行動療法
- 就労支援

★ **メンバー自身が対処法を獲得し、問題解決が図れるように支援する。**

- ex) ・早期警告サイン
- 日常問題への対処
 - 問題解決技法
 - 上手な気持ちの伝え方 …

iPadを活用した地域における医療と支援の統合モデル(OTP)の実践 目的

- ①OTP各ツールの利便性をiPadで高める。
- ②多職種チームの情報共有を更に促進する。
- ③利用者のデータベース化とチーム内での情報共有。
- ④OTPの学習を継続的に行い、スタッフのスキルアップを図る。



OTPをより浸透させる・支援の質を高める

OTPをiPadでどのように使いやすくしていくか？

iPad導入前

- 「精神科リハビリテーションワークブック」をコピーし、支援に活用。訪問時など手元にワークブックがない場合、適切なタイミングでセッション実施ができない。
- セッションで話し合った各シートは、本人及びセッション実施者の記録に保管されることが多く、チームでの共有が十分とは言えない。



課題

- * いつでも必要なツールを活用できるようにする。
- * セッションで話し合った「対処法」「早期警告サイン」等を本人も含めたチームで共有する。

①ワークブックの電子化



『精神科リハビリテーション・ワークブック』◎目次

| | |
|--------|------------------------|
| 推薦のことば | 浅井昌弘 |
| 監修の序 | イアン R.H. ファルーン 鹿島晴雄 |
| はじめに | 水野雅文 村上雅昭 |

| | |
|-----|---------------------------------|
| 1 | 治療・援助チームをつくろう…1 |
| 2 | 自分の目標を立てよう…11 |
| 3 | 効果的な薬の使い方…15 |
| I | 薬の作用/16 |
| II | 薬のメリット/20 |
| III | 薬のデメリット/24 |
| IV | 規則的な服薬のために/31 |
| 4 | たばこやアルコールに頼らないために…35 |
| I | 日常生活と嗜好品/36 |
| II | たばこをめぐる問題/37 |
| III | アルコールをめぐる問題/40 |
| IV | 家庭でできること/45 |
| 5 | アクティヴリスニング（積極的傾聴）—聴き上手になるために…49 |
| 6 | 問題解決と目標の達成…57 |
| 7 | 自分の気持ちを上手に伝えよう…65 |
| I | 感謝の気持ちの伝え方/66 |
| II | 上手な頼み方/74 |
| III | 嫌な気分を軽くするために/80 |
| 8 | 不快な体験に上手に対処するために…87 |
| I | 問題の分析/88 |
| II | 対処機能を強化しよう/91 |
| III | 持続する幻聴への対処法/95 |
| IV | 持続する強迫観念・妄想への対処法/99 |
| 9 | 早期警告サイン—再発を防ぐために…105 |
| 10 | 危機介入…113 |
| I | 再発の危機—早期発見と予防/114 |
| II | 集中的な治療について/122 |
| 11 | 活動性を高める…127 |
| I | 毎日の行動記録をつける/128 |
| II | 毎日の計画を立てる/133 |
| III | 仕事への動機づけ/136 |
| IV | 趣味をもとう/140 |

あとがき

②各シートをファイルメーカーで作成

SoftBank 3G 14:30 43%

OTP_No3_practice (ストアハウスの MacBook Pro)

早期警告サイン

OTP No. 年齢 性別

記入日

私の早期警告サインは

1: 眠れない日が3日間続く

2: 読書が5分以上できなくなる

3: 部屋に4時間以上閉じこもることが3日間続く

私の担当は 電話番号

私の主治医は 電話番号

私の家族で連絡するのは 電話番号

前へ 次へ

SoftBank 3G 14:32 42%

OTP_No3_practice (ストアハウスの MacBook Pro)

アクティブリスニング (積極的傾聴) 1

OTP No. 年齢 性別

セッション日 セッション実施者

(案) アクティヴリスニングの練習をしましょう
スタッフと話し合う話題を決めて、アクティヴリスニングのステップを使いながら話をする。

話し合う話題

話題の記録 (文章)

話題の記録 (音声) 有

アクティヴリスニングのどのステップを使いましたか? チェックしてください。

- 1 話し相手を見る。話をしている内容に興味があることを示す
- 2 話をよく聴く。テレビを消すなどして、なるべくみんなが話し合いに集中できるようにする。
- 3 話をきちんと聴いていることを示すためにあいづちをうつ。
- 4 何が一番の問題点で、目標が何であるのかを明確にするような質問をする。
- 5 相手が話したことを自分がきちんと理解しているかどうか確かめる。

問題点や目標を明確にするような質問を何回しましたか?

回数 回

アクティヴリスニング1 レコード 1/3

録音機能

③ セッション経過の共有化

SoftBank 3G 14:03 50%

OTP_No2 (ストアハウスの MacBook Pro)

OTP管理画面

OTP No. 年齢 性別

| セッション日 | セッション項目 | セッション実施者 | 記録方法 | 備考 | 画像記録 |
|----------------------------------|----------------|---------------------------|--------------|--------|---|
| 2012.12.04.(火) | 自分の気持ちを上手に伝えよう | 小松俊夫 | 嫌な気分を軽くするために | 外出への不安 | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 <input type="text"/> | | コメント <input type="text"/> | | | <input type="button" value="早期"/> <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.11.(火) | 自分の気持ちを上手に伝えよう | 小松俊夫 | 嫌な気分を上手に伝えよう | 外出への不安 | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | | <input type="button" value="早期"/> <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.18.(火) | 自分の気持ちを上手に伝えよう | 小松俊夫 | 嫌な気分を軽くするために | 外出への不安 | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | | <input type="button" value="早期"/> <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.25.(火) | 自分の気持ちを上手に伝えよう | 小松俊夫 | 嫌な気分を軽くするために | 外出への不安 | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | | <input type="button" value="早期"/> <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.31.(月) | 自分の気持ちを上手に伝えよう | 小松俊夫 | 嫌な気分を軽くするために | 外出への不安 | <input type="checkbox"/> 有 |

レコード 1 / 7

OTP管理画面

モデルケースの試行

- 2人のモデルケースを選定
- ウェル訪問看護ステーション、デイケアセンター訪問看護において試行。



モデルケース1:Aさん

SoftBank 3G 13:59 51%

OTP_No1 (ストアハウスの MacBook Pro)

OTP管理画面

OTP No. 年齢 性別



| セッション日 | セッション項目 | セッション実施者 | 記録方法 | 備考 | 画像記録 |
|---|---|-------------------------------------|--|--|---------------------------------------|
| <input type="text" value="2012.10.31.(水)"/> | <input type="text" value="問題解決と目標の達成"/> | <input type="text" value="有馬 和歌子"/> | <input type="text" value="問題解決目標達成シート"/> | <input type="text" value="10/31の用紙に記載"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 <input type="text"/> | | コメント <input type="text"/> | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| <input type="text" value="2012.11.16.(金)"/> | <input type="text" value="問題解決と目標の達成"/> | <input type="text" value="有馬 和歌子"/> | <input type="text" value="問題解決目標達成シート"/> | <input type="text" value="10/31の用紙に記載"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| <input type="text" value="2012.12.26.(水)"/> | <input type="text" value="問題解決と目標の達成"/> | <input type="text" value="有馬 和歌子"/> | <input type="text" value="問題解決目標達成シート"/> | <input type="text" value="10/31の用紙に記載"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| <input type="text" value="2013.01.08.(火)"/> | <input type="text" value="問題解決と目標の達成"/> | <input type="text" value="有馬 和歌子"/> | <input type="text" value="問題解決目標達成シート"/> | <input type="text" value="10/31の用紙に記載"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| <input type="text" value="2013.01.08.(火)"/> | <input type="text" value="問題解決と目標の達成"/> | <input type="text" value="有馬和歌子"/> | <input type="text" value="問題解決目標達成シート"/> | <input type="text" value="10/31の用紙に記載"/> | <input checked="" type="checkbox"/> 有 |

前へ 次へ

レコード 1/7





問題解決・目標達成ワークシート

OTP No.

1

年齢

61

性別

男性



セッション日

2012/10/31

セッション実施者

有馬 和歌子

ステップ1：問題点と目標は何ですか？

ここに自分の言葉で問題点と目標を正確に書けるまで話し合しましょう。

よりはっきりさせるために互いに質問をして下さい。大きな目標は小さな部分に分けて考えましょう。

グループホームで約束事が守れない人がいて、イライラしたり、部屋に居たくないし、不眠になることがある。

ステップ2：あらゆる可能な解決方法を挙げましょう ブレインストーミング

あらゆるアイデアを挙げて下さい。あまり良くないと思われるものでも結構です。

周りの人にも助けてもらいましょう。この段階ではそれぞれの利点については話し合わないでください。

記号 優先順位

- | | | | |
|----|---------------|--------------------------|---|
| 1. | 音楽を聞く | <input type="radio"/> | ② |
| 2. | 昔読んだ本を読んで見たい | <input type="radio"/> | ① |
| 3. | 外食する | <input type="radio"/> | ③ |
| 4. | 人に話す | <input type="radio"/> | ④ |
| 5. | 野菜やきのこを作ってみたい | <input type="radio"/> | ⑤ |
| 6. | | <input type="checkbox"/> | |

ステップ3：主な利点と欠点を簡潔に挙げましょう



ステップ4：最も実地的な解決方法を選びましょう

現時点で手にしている資源（時間、技能、お金、その他）で最も容易に実行できる解決方法を選び出しましょう。

読書、音楽鑑賞、外食

図書館に行く、書店・古本屋、CD店へ行く、ゆったりとした時間を持つ、花を買い眺める(アマリリス、シクラメン等)

1月の食事を頼まなかった日に、外食し、気分転換する。

ステップ5：上記の解決方法をいかにして実行していくか、具体的な計画を立てましょう。

必要な資源を用意し、どのように対処するか計画を立てましょう。

難しいステップはロールプレイで練習しましょう。

1/11の訪問時に、近くの花屋さんに行く(根本園芸、第一園芸、郡山園芸センター)。

予算:¥1,000。候補:シクラメン、アマリリス、ジャコバサボテン等;見てから決める。

花を眺め、癒やされる。手入れをし、自然と触れ合う。

1/2・1/3 食事を頼まなかった日に外食する。

進行状況を確認する日

2013/01/26

ステップ6：計画の実行過程を振り返ります

各自の努力をほめましょう。

各ステップでの過程を振り返ります。

そして計画を練り直しましょう。

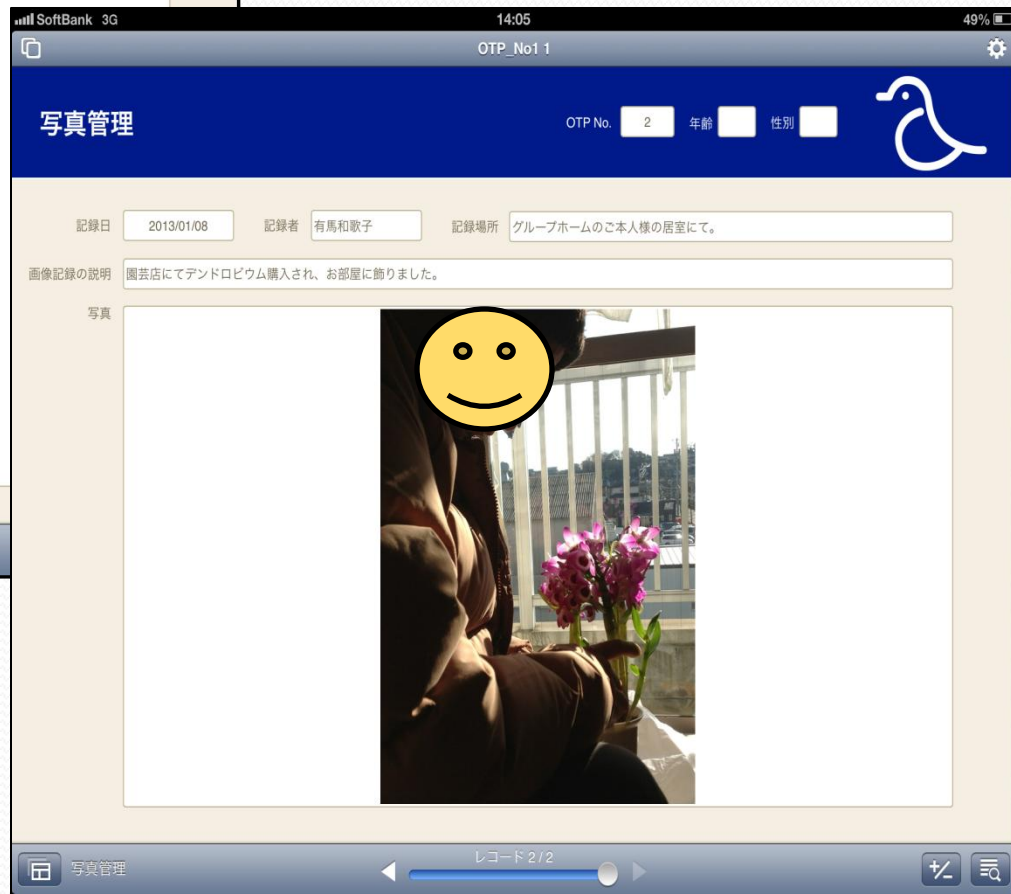
別の解決も試みましょう。

問題が解決されるか目標が達成されるまで、問題解決を継続しましょう。

1/11の訪問看護を1/8に変更する。1/8根本園芸へ行き、¥698のラン(デンドロビューム)を購入する。手入れの方法を自分から店員へ確認し、「液体肥料を春ごろに購入したい。」と話される。1/20の訪問前に、液体肥料購入し、翌日1/21に肥料をまいている。「来春には植え替える予定で、また鉢植えを購入したい。」と話される。

☆今後もストレス貯留時に、音楽鑑賞や読書等の解決方法を行い、ストレス解消に努めていく。

問題解決の実際



モデルケース2: Bさん

SoftBank 3G 14:03 50%

OTP_No2 (ストアハウスの MacBook Pro)

OTP管理画面

OTP No. 年齢 性別



| セッション日 | セッション項目 | セッション実施者 | 記録方法 | 備考 | 画像記録 |
|----------------------------------|---|-----------------------------------|---|-------------------------------------|-----------------------------------|
| 2012.12.04.(火) | <input type="text" value="自分の気持ちを上手に伝えよう"/> | <input type="text" value="小松俊夫"/> | <input type="text" value="嫌な気分を軽くするために"/> | <input type="text" value="外出への不安"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 <input type="text"/> | | コメント <input type="text"/> | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.11.(火) | <input type="text" value="自分の気持ちを上手に伝えよう"/> | <input type="text" value="小松俊夫"/> | <input type="text" value="嫌な気分を上手に伝えよう"/> | <input type="text" value="外出への不安"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.18.(火) | <input type="text" value="自分の気持ちを上手に伝えよう"/> | <input type="text" value="小松俊夫"/> | <input type="text" value="嫌な気分を軽くするために"/> | <input type="text" value="外出への不安"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.25.(火) | <input type="text" value="自分の気持ちを上手に伝えよう"/> | <input type="text" value="小松俊夫"/> | <input type="text" value="嫌な気分を軽くするために"/> | <input type="text" value="外出への不安"/> | <input type="checkbox"/> 有 |
| メール確認した方の名前 | | コメント | | <input type="button" value="早期"/> | <input type="button" value="画像"/> |
| 2012.12.31.(月) | <input type="text" value="自分の気持ちを上手に伝えよう"/> | <input type="text" value="小松俊夫"/> | <input type="text" value="嫌な気分を軽くするために"/> | <input type="text" value="外出への不安"/> | <input type="checkbox"/> 有 |

レコード 1 / 7

OTP管理画面

日常問題記録

SoftBank 3G 14:14 46%

OTP_No2 (ストアハウスの MacBook Pro)

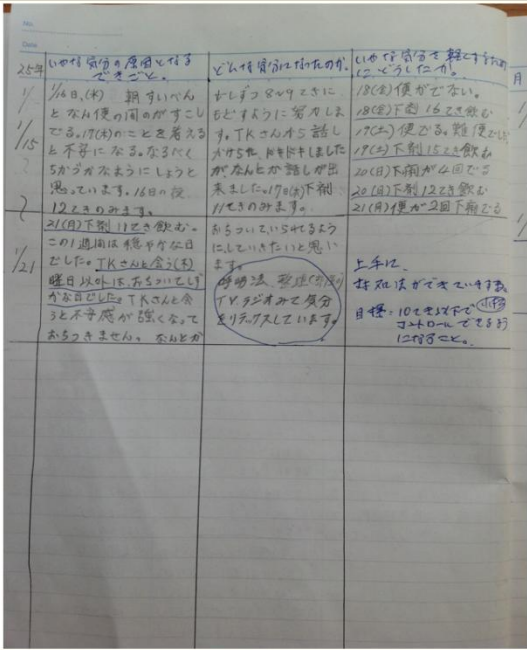
写真管理

OTP No. 年齢 性別

記録日 記録者 記録場所

画像記録の説明

写真

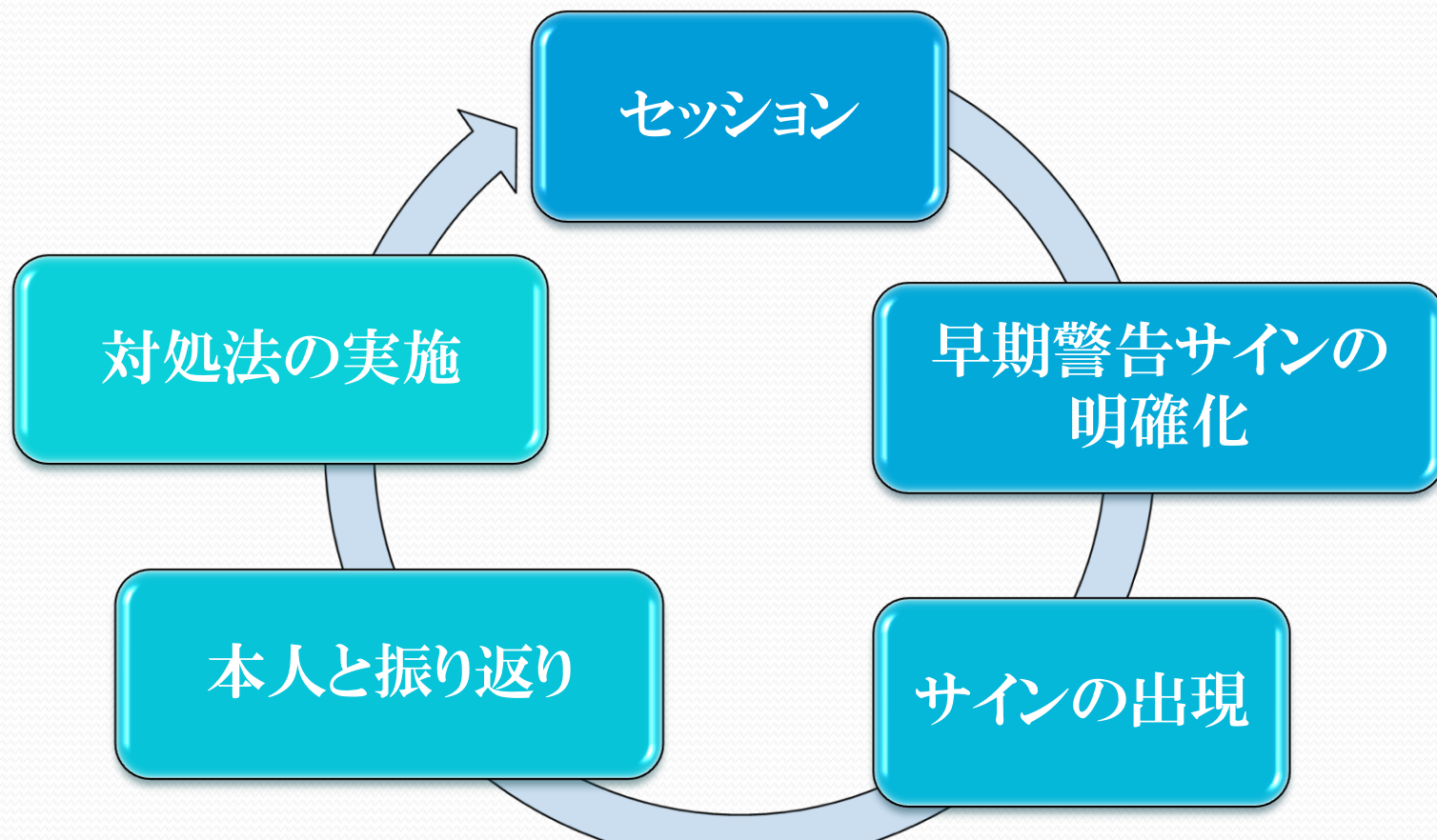


| Date | いかに疲労が度用で付す てまごまご | どの程度疲労が度用の中 に付すか | いかに疲労が度用で付す に付すか |
|------|--|--|---|
| 2/25 | 1/4日(休) 朝すいべん と夜間便の両方がすこし ある。17(休)のことは着る と不審になる。着るべく 5か月前にさうにしよう 思っています。18日の夜 12時のみです。 | 少しづつ80%に おさうに努力し す。TKさんお話し が5分ほど話した が、なにか話しかけ て来たら17(休)下利 11時のみです。 | 18(休)便がでない。 18(休)下利16時飲む 17(休)便がでない。 19(休)下利15時飲む 20(休)下利14時飲む 21(休)下利12時飲む 21(休)便が2回下利 |
| 2/21 | 21(休)下利11時飲む。 この週間は朝から毎日 お話し。TKさんお話し(5) 曜日以外15分お話し が、お話しはTKさんと お話しが強くなくて お話しません。お話し | お話しは5分ほど お話しは10分ほど お話しは15分ほど お話しは20分ほど お話しは25分ほど お話しは30分ほど お話しは35分ほど お話しは40分ほど お話しは45分ほど お話しは50分ほど お話しは55分ほど お話しは60分ほど お話しは65分ほど お話しは70分ほど お話しは75分ほど お話しは80分ほど お話しは85分ほど お話しは90分ほど お話しは95分ほど お話しは100分ほど | 上半は お話しがでた。お話し 目標・10分お話し お話しは10分 お話しは10分 |

レコード 5/17

写真管理

iPad導入により期待される効果



チームの誰もが生活場面や活動場面において至適な支援を提供し、メンバーの生活の質の向上につながる

今後の取り組み及び課題

- シートの改良と種類を増やす。
- 全ケースに導入し、「地域ケア共有カルテ」としての役割を担う。
- システムのセキュリティーの強化。
- 「入院から地域生活へ」の流れにおいて、心理教育教材を共有することで、支援の連続性を担保する。



チームをつなぐ
支援をつなぐ
OTPでつなぐ

ご清聴ありがとうございました。

